

# 公益社団法人日本社会福祉士会 第34回通常総会 議事録

1. 日 時 : 2022年6月18日(土) 13:00~:15:30

2. 場 所 : 日本社会福祉士会事務局会議室(東京都新宿区四谷1-13)

## 【出席者(都道府県社会福祉士会)】(敬称略)

\*出町 勇人(北海道) \*鳴海 春輝(青森) \*坂口 繁治(岩手) \*折腹実己子(宮城)  
\*和田 士郎(秋田) \*大江 祥子(山形) \*目黒 正一(福島) \*竹之内章代(茨城)  
\*松永千恵子(栃木) \*新木 惠一(群馬) \*本橋 朝子(埼玉) \*樽林 元樹(千葉)  
\*隅河内 司(神奈川) \*渡辺 実子(山梨) \*上條 通夫(長野) \*清水 剛志(富山)  
\*堂田 俊樹(石川) \*竹澤 賢樹(福井) \*岡川 毅志(岐阜) \*高橋 邦典(静岡)  
\*早川 真理(愛知) \*嶋垣 智之(三重) \*奥村 昭(滋賀) \*長澤 哲也(京都)  
\*前川阿紀子(大阪) \*伊東 圭一(兵庫) \*西田 利昭(奈良) \*玉置 薫(和歌山)  
\*朝倉 香織(鳥取) \*山本 尚樹(島根) \*今岡 清廣(岡山) \*三上 和彦(広島)  
\*橘 康彦(山口) \*湯浅 雅志(徳島) \*三瀬 誠(香川) \*山本 智弘(愛媛)  
\*久野 貴裕(高知) \*高田 裕矢(福岡) \*小川 睦(長崎) \*深谷 誠了(熊本)  
\*白田 晃久(大分) \*川崎 順子(宮崎) \*東 和沖(鹿児島) \*石川 和徳(沖縄)

(計44名 計数後の1名含む)

\*印は、オンライン会議室(Zoom)出席者。

[書面表決]

新堀 季之(東京) 渡辺 陽一(新潟) 大垣内 勇(佐賀)

(計3名)

## 【欠席者(都道府県社会福祉士会)】

なし。

(計0名)

## 【出席役員】(敬称略)(代表理事(会長)、業務執行理事(副会長)以下、五十音順)

代表理事: \*西島 善久

業務執行理事: \*中島 康晴 \*中田 雅章 \*安藤 千晶

理 事: \*伊東 良輔(15:00まで) \*公文 理賀 \*栗原 直樹 \*竹田 匡

\*岡本 達也 \*中山 貴之 \*橋 典孝 \*星野 美子

(計12名)

監 事: \*江原 伸弘 \*宗 直樹

(計2名)

事務局 長: \*牧野 一義

\*印は、本会事務局会議室出席者。 \*印は、オンライン会議室(Zoom)出席者。

## 【欠席役員】

理 事: 山下 康

(計1名)

### 3. 準備手続き

#### (1) 議長選任

牧野事務局長から定款第 30 条の規定に基づき、議長の選任について諮ったところ、以下のとおり選任され、異議なく承認された。

高田 裕矢 氏（福岡県社会福祉士会）

小川 睦 氏（長崎県社会福祉士会）

#### (2) 議事録署名人選任

高田議長より定款第 34 条第 2 項に基づき、議事録署名人の選任について諮ったところ、以下のとおり選任され、異議なく承認された。

白田 晃久 氏（大分県社会福祉士会）

深谷 誠了 氏（熊本県社会福祉士会）

#### (3) 定足数確認及び開会宣言

牧野事務局長から本総会の出席者数の報告を行った。都道府県社会福祉士会の代表者数 47 名のうち、会場出席者 43 名、書面評決書による出席者 3 名で、定款第 31 条第 1 項に規定された定足数（正会員代表者の過半数の出席）を満たしていることから、高田議長より開会が宣言された。

### 4. 会長挨拶

西島会長から開会挨拶を行った。

### 5. 審議事項

#### <第 1 号議案> 2021 年度決算報告

#### <第 1 号報告> 2021 年度事業報告

中田副会長から議案資料及び当日配付資料に基づき、第 1 号議案、2021 年度決算について公益認定に係る財務 3 基準（公益目的事業の収支相償・公益事業費率 50%以上・遊休財産の保有制限（214, 121, 830 円以下））はすべて満たしていることを報告し、財務状況を説明した。安藤副会長から議案資料にそって 2021 年度に実施した事業について報告した。

続いて、宗監事から会計監査及び事業監査報告があり、会計及び事業については適切に行われていることを報告した。

#### （質疑応答）

#### 坂口会長（岩手県）

議案資料集 p 37 の『『地域共生社会推進に向けての福祉専門職支援議員連盟』（以下「議員連盟」という。）への働きかけを強化する。』は、何処まで進んだのか。参議院選挙を控えているが、今年の衆議院選挙での議員推薦の件で議論があったところなので、会員からも質問が出ている。

#### 西島会長

具体的成果にまではつながっていないが、現在の状況としては、子ども家庭福祉の資格のを中心として議員連盟と関わってきおり、子ども家庭福祉の資格の議論がひと段落したところである。議員連盟は社会福祉士だけではなく、精神保健福祉士、介護福祉士の 3 専門職を支援するものであるが、今後は社会福祉士の社会的地位、配置の促進、待遇の向上等の実現に向けて働きかけていきたいと考えている。

## 坂口会長（岩手県）

了解したが、認定社会福祉士についても社会的に広まるように働きかけてほしい。

## 西島会長

スクールソーシャルワーカーについては認定社会福祉士を活用している市区町村もあると聞いている。しかし、他の分野では、認定社会福祉士を取得しても任用や待遇改善に結びついたかというところ、まだ弱い状況である。現場でスーパーバイザーの役割を担い、管理的なことができるというところはまだ位置づけできていない。認定社会福祉士が何人いるかという数の問題もあり、なかなか制度に結びつかない。7,000人という目標を掲げているが伸び悩んでいるところもある。任用・活用が進んでいくように今以上に働きかけをしていく必要があると考えている。

## 坂口会長（岩手県）

引き続き、働きかけをお願いしたい。

質疑応答後、第1号議案の採決に移り、承認の数が定款第31条第1項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

### <第2号議案>正会員に対する活動助成について

中島副会長から議案資料に基づき、2020年度臨時総会において財政基盤の確保・事務局体制の強化プロジェクトチームが作成した「財政基盤の確保及び事務局体制の強化に向けた提案書」（以下「提案書」という。）が承認され、提案書の中で示された正会員に対する助成制度については、2021年度に正会員に対する助成制度検討プロジェクトチームを立ち上げ、そこでの議論を基に、2022年3月19日の2021年度臨時総会（第2回）において、「正会員に対する活動助成に関する規則（案）」等について説明し、4月10日を目途に意見募集を行ったが意見がなかったことを報告し、これらの手続きを踏まえ、正会員に対する助成制度を施行することを説明した。

質問、意見等はなく、第2号議案の採決に移り、承認の数が定款第31条第1項に規定された過半数の要件を満たし可決された。

## 6. 理事会報告事項

### <第1号報告>2020年度事業報告

中田副会長からの第1号議案の説明とともに、安藤副会長から議案資料に基づき報告した。

### <第2号報告>2023年度予算・制度に関する国への提案書

西島会長から議案資料に基づき、委員会からの意見を盛り込んだ「2023年度予算・制度に関する国への提案書」（以下「提案書」という。）について説明し、厚生労働省をはじめ関係省庁に提出したことを報告した。

質問等はなかった。

### <第3号報告>2021年度声明・見解及び関係行政機関等への意見・要望等の状況

西島会長から議案資料に基づき、2021年度に本会が厚生労働省や法務省等に提出した声明や意見・要望について報告した。

質問等はなかった。

## **<第4号報告>ばあとなあ報告書 IT化に関する進捗状況**

安藤副会長、星野理事から議案資料に基づき、ばあとなあ活動報告書の IT 化の進捗状況について報告した。続いて、システム開発を行う中央コンピューターサービスの担当者より当日配布資料に基づき、ばあとなあ活動報告システムの概要及び導入までスケジュール等について説明した。

(質疑応答)

**川崎会長 (宮崎県)**

今年 10 月に説明会が予定されているとのことであったが、対象は都道府県社会福祉士会のばあとなあ担当者か、ばあとなあ名簿登録者か。

**目黒副会長 (福島県)**

ばあとなあ名簿登録者を対象とした説明会は何回実施する予定か。ばあとなあ名簿登録者の都合もあるので、何回ぐらい実施されるのか把握したい。

**星野理事**

10 月の説明会は、開催方法も含めこれから検討を進めるところである。オンラインだけではなく、オンデマンドについても相談しているところである。ばあとなあ名簿登録者には説明会をオンデマンドで見られるようにすることを考えている。

**安藤副会長**

説明会については、複数回行うということと、説明会はオンデマンドでも見られるようにすることを考えているが、詳細については、今後検討してゆく。

第4号報告の終了後、高田議長から 15 分の休憩が宣言された。

14:40～14:55 休憩

14:55 小川議長から再開が宣言された。

## **7. 事務連絡**

### **<第1号事務連絡>規程類改正**

牧野事務局長から議案資料に基づき、2021 年度第 11 回理事会 (2 月 5 日) において改正した「事務局職員の育児休業・介護休業に関する細則」について、第 12 回理事会 (3 月 19 日) に制定した「パートタイム労働者及び有期雇用労働者の就業に関する規程」の制定及び「就業規則」の改正について報告した。

### **<第2号事務連絡>広報戦略グランドデザイン**

中山理事から議案資料に基づき、本会の広報活動を効果的に行うための広報戦略グランドデザインについて説明した。

### **<第3号事務連絡>第30回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会 (東京大会)**

東京社会福祉士会の新堀会長、星野理事から口頭で、7 月 2 日 (土)、3 日 (日) に開催する第 30 回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会 (東京大会) の参加申込者が 1,000 名を越え、全国から参加があることにお礼を述べた。また、日本社会福祉士会ニュースに東京大会に関するニュース特別号を同封していること、申込締切を 7 月 1 日の 12 時まで延長したので各社会福祉士会においてオンライン参

加、会場参加の呼びかけを依頼した。

#### ＜第4号事務連絡＞第31回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（大分大会）

大分県社会福祉士の白田会長から口頭で、2023年7月1日（土）、2日（日）に開催する第31回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（大分大会）のテーマが、本日の日本社会福祉士会理事会で「現実社会と向き合うソーシャルワーカーたがいに・ささえあい・つながりを目指して」に決まったこと、プログラム等については、改めて広報することを報告した。

#### ＜第5号事務連絡＞第32回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（栃木大会）

栃木県社会福祉士の松永会長から口頭で、2024年度の第32回日本社会福祉士会全国大会・社会福祉士学会（栃木大会）を栃木県宇都宮市で開催することとし、準備を進めていることを報告した。

（質疑応答）

目黒副会長（福島県）

栃木大会の日程は決まっているのか。

松永会長（栃木県）

日程について、案は出ているが、確定はしていない。決まり次第報告する。

#### ＜第6号事務連絡＞ソーシャルワーカー関係団体との連携強化について

西島会長から口頭で、ソーシャルワーカー関係団体統合について、資格（社会福祉士、精神保健福祉士）の統合の後に、団体統合をする予定で進めていたが、資格統合の覚書きを交わす経緯の中で、合意が撤回されるということがあり、現状では、資格の統合が難しいこと、できる範囲で連携強化を進めるため、基礎資格を同じくする日本医療ソーシャルワーカー協会と、事務所の共有に向けての検討を始めてしていること及び事務所共有の時期、場所等が決まれば随時報告することを説明した。

#### ＜第7号事務連絡＞その他

##### （1）正会員に対する助成活動 募集要項について

中島副会長から当日配布資料に基づき、本総会の第2号議案で可決された正会員に対する助成活動の2022年度の募集要項について説明した。

##### （2）政策実践研究員募集について

中島副会長から当日配布資料に基づき、政策実践研究員を募集していることを報告し、応募資格の該当者がいれば応募を働きかけるよう依頼した。

##### （3）マクロソーシャルワーク研修説明会について

竹田理事から当日配布資料に基づき、7月6日（水）（18:30～19:30（Zoom））マクロソーシャルワーク研修の説明会を開催することを報告した。

##### （4）IFSWヨーロッパによるウクライナ難民支援活動等への義援金募集について

事務局の荒木企画グループ課長から当日配布資料に基づき、IFSWヨーロッパによるウクライナ難民支援活動等への義援金が6月16日までに約2,000千円集まり、送金を行ったことを報告するとともに協力のお礼を述べた。また、義援金の募集を9月30日までに延長したため、引き続き、協力を依頼した。

西島会長から最後に、本総会で可決された正会員に対する活動助成を有効に活用することを呼びかけるとともに、7月2日（土）、3日（日）に開催する東京大会を盛り上げるため多くの参加者があるように都道府県社会福祉士会においても、さらなる会員への参加呼びかけを依頼した。

以上で議事を終了し、15：30に閉会した。